

せとうちちょう 議会だより

第161号

平成28年5月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～平成28年度予算審査特別委員会審査状況（委員会室にて）～



こんなことを決めました 第1回定例会 3月3日～18日

第1回定例会では、当初予算議案 11 件、補正予算議案 13 件、条例議案 13 件、契約議案 1 件、その他 5 件、議員発議 2 件の計 45 件の議案を審議し、可決しました。

平成 28 年度各会計予算議案 11 件については、議長を除く 9 名で構成する予算審査特別委員会（委員長 岡田弘通、副委員長 向野 忍）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、原案のとおり可決し意見書を町当局へ提出しました。（各会計当初予算額については町広報誌 5 月号に掲載のため、割愛しました。）主な議案の要旨は次のとおりです。

課設置条例の改正

水産振興課の新設と農林課、商工観光課の改正
 行財政改革の一環として、役場の機構見直しを行ない、地域住民の要望に迅速に対応するとともに、効率的な運営を目指すため、課の新設等を実施するもので、「水産振興課」を新設し、「まちづくり観光課」を「商工観光課」に、「農林水産課」を「農林課」に改正するものです。

旧節子小中学校跡地無償貸付契約

主な内容は、平成 27 年 4 月 1 日で廃校となった旧節子小中学校跡地の有効活用を図るため、都市農村共生・対流総合対策交付金を

活用して交流人口の拡大や特産品の開発等を目的とした交流体験拠点とするもので、（株）奄美有機農業研究所に平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで無償貸付するものです。

貸付内訳は、
 建物（RC 平屋建）

・延床総面積 1254.31㎡の内 609.19㎡。

土地

・敷地面積 2267㎡。

・屋外運動場 2880㎡。

一般会計補正予算（第 5 号）

主な内容は、自治体情報セキュリティ強化対策事業として 3056 万円、ふるさと応援基金積立金 1400 万円、障害者自立支援扶助 3300 万円、国民健康

保険特別会計繰出金 1 億 8080 万円、巡回診療施設特別会計繰出金 4610 万円、防災行政無線個別受信機整備費 1029 万円などを追加するものです。

また、林道災害復旧費 2958 万円、道路橋梁河川災害復旧費 6750 万円、公債費 2045 万円などを減額するものです。
 総額 2234 万円を追加しました。

火葬場設置及び管理に関する条例の改正

主な内容は、大人（13 歳以上）1 体につき 1 万 2000 円を 2 万円に、小人（13 歳未満）8000 円を 1 万円に改正するものです。

また、本町の住民でない場合は、大人（13 歳以上）1 体につき 3 万 5000 円

に、小人（13 歳未満）2 万 6000 円に改正するものです。

町長等の給与等に関する条例の改正

町長・副町長・教育長の給料を平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの 1 年間で 5% 減額するものです。

監査委員に

宮原 省吾氏

（66 歳 古仁屋）

人権擁護委員に

山倉 馨氏

（64 歳 古仁屋）

平成28年度各会計予算審査意見

1. 陸上自衛隊配備についての敷地造成工事及び建設関連工事等については、地元業者が受注できるよう特段の努力をされたい。
2. 古仁屋市街地以外の地域においても、光ファイバー網の整備について鋭意努力されたい。
3. 市街地再開発基本業務設計の中において、駐車場の整備についても検討されたい。
4. 世界自然遺産の拠点施設等の建設誘致については、受け入れ体制を含め強力で推進されたい。
5. 地域包括ケアシステムの構築に向け、請島、与路島、西方地区等における介護サービスの格差是正に積極的に取り組まれたい。
6. 町内の環境改善に向け、ポイ捨て防止条例（仮称）等の制定に努力されたい。
7. 浄化槽管理委託料等については、各課で独自契約するのではなく、一括して業者と交渉を進めるよう努力されたい。
8. 農畜産業の振興に向けて、遊休地解消と草地開発に鋭意努力されたい。
9. 水産業の振興と大島海峡の利活用について鋭意努力されたい。
10. 加計呂麻島展示・体験交流館の管理運営等については、本町の観光拠点施設としての機能充実に努められたい。
11. 防災行政無線屋外拡声子局未設置地区の解消と防災行政無線戸別受信機の年次的な整備充実に努められたい。
12. 消防団の増強に向け、女性消防団員の確保に努めると共に定年退職者等、幅広い層からの入団促進に取り組まれたい。
13. 古仁屋高校の振興対策については、新学科設立など中学生が魅力を感じる学校づくりに努めるとともに、受け入れ体制の充実とPR活動を強力で推進されたい。

～ 議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は6月8日に開会予定です。議会を傍聴したい方は役場4階へお越し下さい。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。

(72-1072 直通)

一般質問

第1回(3月)定例会では、9名の議員が町政全般に亘り、質問・提言等を行ない議論を交わしました。一部を要約して紹介いたしますが、記事に関しては、質問議員の責任において掲載しています。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



中村義隆議員

議員 旧公民館跡地について

南海トラフ地震の津波予想では、瀬戸内町は3メートルの高さと想定されておりますが、海拔1メートルのあの予定地に防災センターが建設可能かどうか伺います。

町長 あらゆる災害への対応策として、本町においては「瀬戸内町地域防災計画」に基づき「防災・減災ガイドブック」により、災害の種類毎に緊急避難場所を指定しており、津波については、万全を期して全町民に高台等へ避難するよう定められています。

しかしながら、南海トラフ地震による想定される3メートルの津波発生後においても災害支援活動に支障のないよう、あらゆる局面を考慮し、施設を整備していく考えです。

議員 自衛隊配備について

陸上自衛隊の駐屯配置案や宿舍用地も決まりましたが、今後の計画を伺います。

町長 陸上自衛隊配置に係る今後の計画につきまして、本年度中に防衛省と駐屯地用地のうち、旧養豚団地地区及び残土処理処分場跡地区について用地交渉に入る予定であります。

なお、駐屯地用地の大山地区の山林及び官舎用地につきましても、平成28年度に土地を取得するための用地測量等の手続きに入る予定であります。

定であります。

議員 「ストレスチェック」(心の健康)について

従業員50人以上の企業で「ストレスチェック」が義務化になりましたが、本町役場職員への取り組みはどうお考えでしょうか伺います。

町長 労働安全衛生法の改正により、労働者が50人以上の事業所では、2015年12月から、毎年1回「ストレスチェック」をすべての労働者に対して実施することが義務付けられました。本町においても、本年6月から全職員を対象に「ストレスチェック」を実施する予定としております。

議員 教育行政について

2月18日は「フタバの日」

と言ったことで「方言の日」でもあります。本町での取り組みを伺います。

教育長 現在、瀬戸内町に継承されている格言を集め、教室の後ろからでも見える大きさの「ひめくりカレンダー」を作成中でありますが、3月末までに各学校へ配布し、4月以降学校の協力をいただき、毎日のホームルーム等で島口や格言に触れる時間を取る予定であります。





澤 佳男議員

すべてのバス路線における、100円均一運賃の実施を提言したが、その後の検討結果を聞かせていただきたい。

議員 介護保険料について

平成26年度(第5期)と27年度(第6期)の介護保険料の基準額と、その上昇額・上昇率を示していただきたい。

町長 平成26年度(第5期)基準額は5700円(月額)、27年度(第6期)基準額は7300円(月額)です。金額にして1600円上がり、28・1%の上昇率になっています。

議員 100円バスについて

昨年9月、わたしは町内す

ら給与を受け取っている人は、それぞれ何人いるのか。

まちづくり観光課長 海浜バスは、11人と数か月分。加計呂麻バスは、12人に給与を支払っています。

議員・意見 交代要員として、それぞれ余分に2人の運転士は必要と考える。

議員 廃止代替バスについて
海浜バスと加計呂麻バスの1日当たりのバスの稼働台数、運転士の稼働人数を示していただきたい。

まちづくり観光課長 1日当たり、海浜バスは5台のバスと5人の運転士。加計呂麻バスは、6台のバスと6人の運転士が稼働しています。

議員 二つのバス事業者が

して組み込まれています。

議員 廃止代替バス補助事業に、なぜ補助に該当しない貸切バス事業が入ってくるのか。

議員・指摘 運送収益には、廃止代替バスの各路線から得た、一年間の運賃収入の総額が入っているが、貸切バス事業から得た収入は、いっさい入っていないのではないか。



元井直志議員

議員 自衛隊配備に伴う施設の充実について
1. 学校施設について
2. 生活環境整備について

教育長 1. 瀬戸内創生実行計画(案)の中の学校施設

まちづくり観光課長 運送収益に入っています。

議員・指摘 運送収益には、廃止代替バスの各路線から得た、一年間の運賃収入の総額が入っているが、貸切バス事業から得た収入は、いっさい入っていないのではないか。

また、学校給食センターを平成28年度～32年度事業として計画しております。あくまでも予定でありませんが、防衛施設周辺整備事業として、阿木名小中学校校舎及びプール等が平成31年度～34年度事業として計画されています。

町長 2. 生活環境については、自衛隊配備計画に基づき、阿木各地区への官舎の建設が計画されており、地区内の人口増が見込まれますが、し尿処理については、現在稼働しております農業集落排水処理施設利用を促進し、人口増によるし尿汚泥処理に支障を来さぬよう処理能力を有する施設整備を図ります。

ごみ処理については、従来どおりの処理方法で、官舎周辺の生活環境に影響がないよう取り組んでまいります。

議員 防災施設について

町長 各地区の防災施設は十分か伺います。

町長 本町の各地区の防災施設につきましては、町地域防災計画の中で、57箇所

(集会所、学校、福祉施設等)を緊急避難場所として指定しております。

また、小型ポンプ積載車については、阿木名・勝浦集落など14集落に配備され、小型動力ポンプについては、30集落に設置しており、今後も消防組合と連携を図りながら、安全・安心なまちづくりに向けて施設整備を推進してまいりたいと考えております。

議員 福祉有償運送について

行政は、この件についてどのように考えているのか。

町長 福祉有償運送は、要介護者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスの確保や交通空白地域の解消を図るためにも、重要な事業と考えています。

議員 今後どのように対応していくのか。

町長 福祉有償運送は、採算面等からバス、タクシ事業者が参入しない場合に行われるものであり、また、輸送の安全や旅客の利便を確保するため、関係機関と連携し、安全と利便性の向上に努めます。



岡田弘通議員

議員 地方創生について

町長 公約に掲げた「瀬戸内町創生実行計画」、「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

したが、これ等の地方創生の施策として平成28年度予算にどのような事業が反映されているのか伺います。

町長 平成28年度の当初予算編成にあたっては、地方創生関連事業として、重点的・優先的に配分することとし予算編成いたしました。

主な新規事業としては、奄美空港ターミナルビル拡張事業(負担金)や企業誘致・雇用創出促進事業、古

仁屋高校新学科設立調査事業のほか、「与路・請・加計呂麻シマ構想」及び「清水地区文化スポーツ村構想」策定事業、農村振興基本計画策定事業、新規水産業就業者特別対策事業等を計上しています。

等を図る条例の制定を行うべきと思うが、考えを伺います。

町長 地元起業者の育成支援については、平成28年度当初予算において、企業支援助成補助金として概算で予算計上しております。

具体的な支援内容については、現在、調査・研究中でありまして、条例等の整備について検討しているところであります。

議員 2. 公共事業費の減少により、建設業界等は厳しい状況にある。平成28年度の事業内容と今後は、防災・環境等の公共事業費を増額していくべきと思うが、考えを伺います。

町長 建設課の平成28年度事業は、町道の改良舗装事業が8路線、防災・安全事

議員 地域経済の活性化について

1. 地元起業者の育成支援

業が2路線、橋梁の補修事業が4橋、林道の改良舗装事業が3路線、港湾事業が2地区、県単急傾斜事業が2地区等となっております。防災関連事業として、県営による急傾斜地崩壊対策事業の5地区や砂防事業の5地区などを計画していますが、特に防災に係る事業は、人命や財産に直接関わる事業ですので、早期に整備が図られるよう関係機関と協議しながら進めていきたいと考えております。

市街地及び集落等の環境整備につきましては、排水もしくは浸水対策が最も重要と考えますが、その整備には莫大な予算と相応の時間が必要になります。今後は、短期的（早急）に整備する区域、長期的に整備する区域等、その区域の実情を勘案して進める必要があると考えております。

議員 3. 陸上自衛隊配備予定地の造成工事及び官舎等の建設工事の地元（町内）業者への発注について、防衛省の考えと町の取り組みについて伺います。

町長 基本的に、国が発注する建設工事は、入札の公平性・透明性を確保するため、会計法により一般競争入札が原則であります。本町としましては、防衛省・九州防衛局・熊本防衛支局等に地元業者への発注機会の確保についてお願いをしているところであり、今後におきましても、引き続き関係機関へ要望してまいります。

議員 **大島海峡の活用と海洋開発について**

関係機関等による連絡協議会の設立と専門機関等による調査・開発の実行計画等

の策定は急務と思うが、考えを伺います。

町長 大島海峡の活用と海洋開発のために、現在事業展開しております観光関連事業者や、養殖業の現状等及び今後の計画等も踏まえ、関係機関との連携を図りながら、前向きに検討してまいりたいと思います。



向野 忍議員

議員 「瀬戸内創生実行計画」について

その内容について伺います。

町長 1. 与路・請・加計呂麻シマ構想

2. 瀬戸内町教育施設整備計画

3. 瀬戸内町防災に強いまちづくり構想
4. 瀬戸内町生活環境対策
5. 清水地区・文化スポーツ村構想
6. 市街地再開発計画
7. インフラ整備

となっており、計画全体の総事業費は243億円を予定しております。

また、本計画は「瀬戸内創生マニフェスト」の実行を最大のテーマとしながらも、本町財政の強靱化を目指すものとなっております。

議員 **中央公民館跡地の計画について**

町行政はもとより我々議員も町民へ正確な情報を伝える責任があります。

中央公民館跡地に建設予定の「防災コミュニケーションセンター」の事業内容等について

伺います。

町長 豪雨及び台風災害時に住民が安心して避難でき、平常時には以前の公民館と同様に「コミュニティの場」として利用できる施設として計画しております。

内容については、道路情報板、駐車場、避難所、調理場、非常用発電機、備蓄倉庫等の災害支援に必要な施設と平常時にも活用できる会議室や講演会ホール等の施設の整備を考えております。

議員 **公民館活動の事業**

（社会教育法20、22条）の音楽（島唄、三味線、舞踊）、絵画、写真、生け花、陶芸など従来の公民館講座の活動ができるのか伺います。

総務課長 以前の公民館と同様に活動ができます。

議員 建設予定地は海拔1

mであり、南海トラフ地震の津波予想は3mである。

その対策について伺います。

町長 建設予定地は高上げをし、3mの津波発生後においても災害支援活動に支障のないように整備していきます。また、全戸配布の「防災・減災ガイドマップ」に、津波の時はまず近隣の高台へ避難するよう定められています。

議員 与路・晴・加計呂麻シマ構想について構想内容、事業費、計画年度等について伺います。

町長 瀬戸内創生実行計画の7項目の先頭に掲げた瀬戸内創生の最重要政策であります。

与路島、晴島、加計呂麻

島の三島民が「安心して暮らせるまち」を創ることにより三島の発展を促し、三島の発展こそが瀬戸内町の発展であるとの原点に立ち計画しております。

主な構想内容としては、瀬相地区へ「ターミナル兼役場支所」の整備、海上交通体系の見直しを含めた「フェリーかけろま」「定期船せとなみ」の建造、更には、三島の緊急搬送体系の整備として「救急船おとお

り」と「ヘリポート」の整備等を計画しております。事業費は、14億4千万円を予定しており、計画年度は27年度から32年度の6か年での完了を目指しております。

その他の質問

◆ミカンコミバエの早期根絶対策について

・現在の状況と今後の対策
・生産農家、加工、販売、流通業者等への支援対策



稲田隆一郎議員

議員 世界自然遺産登録について

国・県は、平成30年登録

を目指し、準備を進めているが、町の取り組みについて伺います。

町長 本町独自の取り組みとしましては、平成28年度は、住民を対象とした「自然保護講座」や「外来種駆除」の実施、さらには、「子

ども自然遺産学習講座（仮称）」等を開設し、子ども達への自然保護意識の高揚を図って行こうと考えております。

とも自然遺産学習講座（仮称）」等を開設し、子ども達への自然保護意識の高揚を図って行こうと考えております。

議員 国・県との交渉内容について伺います。

町長 現在、国・県・奄美大島5市町村と連携して協議を進めている検討会での、「持続的観光マスタープラン」において、奄美大島南部の拠点施設として位置づけられており、今後も引き続き実現に向けて協議を進めてまいります。

議員 他市町村との協議内容について伺います。

町長 他市町村との協議内容は、希少動植物の保護に関する条例の策定、自然保護ガイドブックの作成、外

来生物等の駆除など、希少野生動植物保護に関する各種事業についての協議を行い、事業を実施しております。

また、奄美大島南部振興協議会においても、南部地域での拠点施設の整備については、本町への誘致を確認しており、今後も継続して国・県へ要望して行きたいと考えております。

議員 町政運営について

町民から、文化会館や防災センター建設等について、新聞投稿・要請書等が出ているが、受け止めているか。また、町民に対し、説明会を開く考えはないか伺います。

町長 新聞への投稿や関係機関への要望等が行われていることについては、一部の町民の皆様において、計

画の変更について誤解されておりましたが、改めて説明いたしますと十分に理解して頂いております。

あらゆる機会を通じて説明を行い、町民の理解を深めていく考えであります。また、今後予定している町政懇談会も説明の場として活用していく考えであります。

議員 防災コミュニティ建設に向けての基本構想は、いつ公表するのか。

また、文化会館建設を先延ばしにした事に補助金返済処理について内容をお示し下さい。

町長 基本構想については、可能な限り早めに公表したいと考えております。

文化会館建設については、国・県と協議を重ねた結果、工事を除いた委託設計のみ

の事業とし、平成26年の1か年で完了した事業として取り扱うことで調整できていると、事業としては、適正に完了していることから、交付金の返納等は発生しないと考えております。



渡島芳臣議員

議員 町政運営について

1. 文化会館建設の見直しに伴い、建設に向けて進めてほしいと言いつなが町民多数から出ております。

町民が何年もかけて進めてきた待望の文化会館建設であり、全町民が期待をしております。

前町政で財政再建に取り組み、基金を11億円に伸ばし、30億円の起債も返済し、

余裕をもって建設を進めて参りました。町政が変わった途端、白紙に戻すと言いつ見直しの経緯、民意を汲んで納得のいく住民説明会を開催すべきと思いますが、考えを伺います。

町長 見直しの経緯については、町長直属の政策推進室で調査し、建設検討委員会において現計画の白紙化が決定されています。機会あることに実情を町民に説明していく考えです。

議員 2. 防災コミュニティ

センターを文化会館より優先させる明確な理由、町民には防災センター建設を急ぐ必要はないと言っています。海拔1mの場所に防災センターの施設を建てること出来るのか、国・県の了承を得ているのか、伺います。

町長 文化会館建設には多くの課題があり見直しを行うという判断に至りました。建設については、国・県の了承を得ております。

議員 農業振興について

ミカンコミバエに関しての補償金額は生産者の意見が反映され満足する金額が設定されたのか、最高補償金額、全体の金額はいくら位に上がるのかお尋ねいたします。

町長 適正な用途と単価に基づくもので、客観性を重視したものと、買い上げ額を設定します。全体の買い上げ金額は、ほんかんとタンカンの合計で5204万9220円となっております。

議員 環境整備について

1. 嘉徳海岸の砂が減少し、砂浜が変化しておりますが、原因は究明されているのか、この対策は進めておられるのか、海岸の整備計画を検討されているのか伺います。

町長 砂の減少につきましては、特定される原因は究明できていません。

この対策につきましては、平成28年度の海岸浸食対策事業として、県から国へ要望しております。早期に整備が図られるよう県と協力して進めたいと考えております。

議員 2. 伊須集落は大雨のたびに床上浸水を繰り返しています。

近年、時化の度に大量の流木が河川に堆積し河川の流れを妨げています。

集落民は大雨のたびに増水するのではないかと心配し、大変な気苦労をしている様であります。導流堤の陳情書は提出してあります。早急な整備が望まれますが、建設に向けて進展しているのかお尋ねします。

町長 現在、県の方で護岸の機能診断を行っており導流堤についても要望等を行っているところであります。今後、土砂の堆積等が確認されたならば、導流堤が建設されるまでは重機等による土砂除去等を行って行きたいと考えております。

町村連携による南部大島移住・交流推進事業の企画等を通して結婚サポートをしてまいります。出産については、出産祝い金として第1子5万円、第2子10万円、第3子以降20万円を助成しております。

また、加計呂麻島、請島、

与路島に居住する妊婦に対して、妊婦健診や出産に備えた事前待機、緊急移送する際の古仁屋までの船賃や宿泊費用の一部と、町内に居住する夫婦に対し、特定不妊治療を受ける際に必要な交通費や宿泊費の一部を助成しております。

3. 周辺市町村との連携について



義岡幸三議員

議員 地方創生について

「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、次の3点について伺います。

1. 雇用対策について
2. 結婚・出産・子育ての施策について

町長 1. 企業誘致や起業支援及び新卒者雇用支援、新規就農支援や後継者の人材確保対策、森林施業の推進及び新規漁業者の人材確保・育成等を推進し、本町の各産業の活性化を図り、雇用対策として取り組んでまいります。

2. 町独自で出会い交流ツアーを実施しておりますが、

母子保健活動支援として、

乳幼児の各種健診と戸別訪問において、保健師、助産師、看護師等による相談や子育てのスキルを提供し、育児不安の解消に努めております。妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を更に充実させるために、既存事業の充実拡大を図ってまいります。

3. 奄美大島5市町村の広域連携事業として、先行型上乗せ交付金を活用した「奄美大島サンセットプロジェクト」等の3事業を実施しており、地方創生加速化交付金事業として「奄美大島南部町村地域医療連携体制の構築」等の8事業を申請しております。

議員 福祉の充実について

本町の乳幼児医療費助成制度は小学校就学前の未就学児が対象となっております

が、小学校終了まで拡充する考えはないか伺います。

町長 乳幼児医療費助成については、今年度より課税世帯の控除額3千円と所得限度額を廃止し、未就学児の医療費は全額無料となっております。

医療費助成の拡充については、少子化対策の一環として実現したい施策の一つであり、子育てに格差があるとは思いませんので、将来的な財源の見通しを踏まえた中で検討していきたいと考えております。

議員 海上自衛隊の拡充について

本町への陸上自衛隊部隊配備が決定した今後において、あらためて海上自衛隊奄美基地分遣隊の拡充と常駐艦艇の配備が必要と考えますが、町長の所信を伺います。

町長 海上自衛隊奄美基地分遣隊は、昭和37年2月古仁屋地区に開隊以来、南西諸島の海上防衛及び艦艇部隊に対する後方支援や本町の火災・風水害などの災害発生時には、救助支援や初動対応に迅速に対応するとともに、護衛艦の寄港に際しては、地元経済への活性化

に大きく貢献しております。奄美基地分遣隊の拡充については、今後においても関係機関と連携を図りながら、防衛省や佐世保地方総監部等へ奄美基地分遣隊の拡充と常駐艦艇の配備について積極的に要望してまいります。

た。新たに計画した防災コミュニティ施設は、従来の公民館が担っていました防災機能を強化することにより、本町の防災対策の拡充を図るものです。

平常時には、旧公民館と同様に「コミュニティの場」として利用していく考えです。



池田啓一議員

仮称「文化センター」と「防災コミュニティセンター・文化ホール」について

町長 当初計画の文化会館

議員 前町政の下で計画されていた事業を検証し、結果、内容を変更した次の事業について、その違いと今後の計画をお聞かせ下さい。

には多くの問題と課題があり、特に事業費の増大に伴う起債額の増嵩や施設規模の拡大による維持費の高騰など将来の町財政に与える影響は計り知れない状況でありましたので、見直しを行うという判断に至りました。

旧文化会館において計画されていた音楽ホールの機能については、費用対効果やランニングコスト等の調査分析を行いながら、慎重に計画を進めていく考えであります。

議員 町内のバス路線をつなぐバス（1000円）での運行を検証するとの事ですが、計画を伺います。

町長 平成28年度にモデル地区を決めて、1000円バ

スの実証運行を実施し、乗車率及び収支率等を調査してまいりたいと思います。

議員 「もっと農業に力を」町民の声です。いろいろ努力をされていますが、町民には届いていない様に思われます。「遊休地・農業従事者の増」についての対策を伺います。

町長 農業従事者が、年々減少していますが、新規就農者・青年農業者に対し、各種事業の活用を促すとともに意欲ある農業者をリストアップし、農業従事者の確保に努めます。

議員 遊休地については、町単の遊休地開墾事業と農地中間管理機構を活用し、新規参入・規模拡大農家等に斡旋してまいります。

議員 町内の環境保全につ

の様な対策をされているのか伺います。

町長 各家庭からの生活排水を、より浄化された放流水として放流させることが、川及び海への環境保全に繋がるものと考え、合併処理浄化槽の普及推進を図ってまいります。

また、ごみ等の散乱を防止するため、ポイ捨て等防止条例の制定を視野にいれ、清潔で美しいまちづくりに努めてまいります。

議員・意見 海の透明度を回復するためには、企業努力も必要ではないか。

その他の質問

◆グラウンドゴルフ場について

◆簡易水道の統合計画について

委員会活動

第1回定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

『西阿室集落環境整備についての陳情』を採択

西阿室集落より、金久川に架かる橋（4橋）の改良工事について、秋葉権現参道の手すりの取り付けについて、ふるさと住宅の建設についての陳情で、町建設課長、同課長補佐の出席を求め区長、集落委員立会いのもと現地調査及び意見交換を行いました。

建設課長より、今後の対応について説明がありました。

金久川に架かる郵便局前の橋については、平成29年度に架け替える計画で要望したいとのことでありました。集落の中ほどの3つの橋については、平成29年度

に特定離島ふるさとおこし推進事業に要望したいが、予算の関係で優先順位をつけて計画することもあり得ることでありました。

秋葉権現参道については、平成29年度の特定離島ふるさとおこし推進事業で手すりの取り付け等を要望していくとのことでありました。ふるさと住宅建設については、町としては新しい住宅を建設する計画はなく、既存の空き家等を改修して使用していく方針である。集落の空き家や近隣集落の住居の改修等に対応していきたいとのことでありました。

委員より、優先順位を決め、特定離島ふるさとおこし推進事業等にて確実に要望し、実現すべきとの意見が出されました。

以上の現地調査、意見交換等の審査を踏まえ、全会

一致で採択すべきものと決定しました。

また、次の意見を町当局へ提出しました。

『西阿室集落環境整備についての陳情』審査意見

1. 西阿室集落より、これまで出された陳情について整理見直しを行い優先順位を決めて実現に向け鋭意努力されたい。

2. 議会に出された陳情については、今後の取り扱いの方向性や結果等について陳情者並びに議会に確実に報告されたい。



現地調査を行う総務経済委員
(西阿室集落にて)

編集後記

◆昭和31（1956）年9月1日4ヶ町村が合併、瀬戸内町が誕生。

◆昭和33年12月27日、古仁屋大火。

◆昭和34年の記録、人口2万5121人（旧、古仁屋町1万2309人・西方村3326人・鎮西村586人・実久村3622人）、学校数26校・児童生徒数4868人（7校は記録なし）。

◆30年代後半～40年代、シマ（集落）では複数の製糖場が稼働し活力があった。

古仁屋港は、シマシマからの定期船等、入船出船で大いに振るわい賑わっていた。

◆町政施行60周年の節目に過去を思い、未来を想う。

（池田）